



市協紙
江少関
松青機

No.50

発行
令和5年
11月

地域の温もりの中で

松江市青少年育成連絡協議会 会長 藤原 恵子

「コロナ禍で延期や中止になっていた会合や行事等が、四年ぶりに開催されるようになり、各地区青少協でも、活気が戻り、様々な事業が実施されました。今夏は大変な猛暑になりましたが、各地区では諸行事を計画していただき、子どもたちも楽しい思い出づくりができたようです。

松江市青少年育成連絡協議会でも、昨年度より、研修会等、様々な事業が実施できるようになりました。今年の三月には四年ぶりに実践発表会を開催しました。川津地区にはモデル事業の実践を、生馬、八雲、一中校区、湖北中グループの四地区には、「わかものふれあい事業」について発表いただきました。それぞれに青少年を中心とした活動の素晴らしい発表でした。市内多くの地区で、若者を主体とした事業や行事がなされ、若者の活躍の機会が広がっていることを実感しました。また、若者を主体とした活動も広がってきたが、どのようにしたらよいか、苦慮なさっている地域があることも分かりました。そこで、今年の五月の研修会は、各地域の今後の取り組みの参考になるような内容にしました。

まず、青少年育成島根県民会議事務局次長 島崎 健志氏に、「子どもが主役」という視点での青少年育成活動や活動支援事業についてご紹介いただきました。さらに、若者リーダーとして、NPO法人KEYS 藤原 睦「氏」には、「広がる地域とのつながり〜KEYSの活動から〜」、「一般社団法人学び

Design 高橋 椿太郎氏には、「青少協で学んだこと〜いままでこれから〜」について、それぞれの活動の様子や、活動にかける思いを熱く語っていただきました。研修会後多くの感想をいただきましたので、一部で紹介いたします。

研修会後の感想

・県民会議の存在、島崎健志さん、藤原睦己さん、高橋椿太郎さんの存在を知り、これからの活動に活用させていただきます。と思えます。

・県民会議の助成を活用して活動を活性化できる地域が増えるといいなと思いました。

・若者と一緒に事業をしたという感情が盛り上がりがあります。地区の活動に役立てそうなことばかりでも勉強になりました。大人の意識も変えなきゃいけないなと思っています。同じ目標に向かって意見をたくさん交換していきます。

・地域とともに若者を成長させることが地方創生にも、つながると感じました。「松江の良さ」を活用していくことも方法として必要だと感じました。

鏡のように光り輝く宍道湖、真っ赤に染まった夕陽、目をうつぶると聞こえる鳥や虫の声、川のせせらぎ、島根には、本当に美しい自然がいっぱい。豊かな文化や歴史もあります。そして何より、地域の方の温もりがあります。若者たちが、地域の方からの愛情を受け、その温もりの中で様々な方と出会い、活動し、豊かな心を育んでほしい。そして、地域と若者が繋がって、これからの地域社会を担う若者に育ててほしい。

松江市青少年育成連絡協議会は、これからも、地域で活躍する若者を応援します。

各地区青少年育成協議会では

こんな事業をしています!

子どもの健全育成研修会

小学校区・中学校区で講演会・意見交換会等の研修を実施しています。

少年見守りパトロール事業

子どもたちの安全のため、パトロールや見守り活動を実施しています。

古江



湖北中校区グループ
ジュニアリーダー研修会

法吉



あいさつ運動

朝酌



10月21日朝の登校見守りパトロール

自立と社会参加

地域の特性を生かした事業展開を行っています。

島根



釣り体験
「ファミリーフィッシング大会」

自湯



「三中生による遊びコーナー」の
準備と出店

雑賀



こども縁日

黄色いポスト推進事業

長岡塗装店様 お手伝いになります

令和4年度より株式会社 長岡塗装店様に黄色いポスト塗り直しのボランティアをしていただいています。

令和4年度に1地区(川津地区)、令和5年度に3地区(朝日地区、乃木地区、法吉地区)の黄色いポストの塗り直しをしていただきました。今後も計画的に塗り直しをしていただく予定です。大変お世話になりありがとうございます。



有害図書回収実績

令和4年度は
3,962冊の
有害図書類を
黄色いポストで
回収しています。



家庭・地域における啓発活動

- 青少年の非行・被害防止全国強調月間 **7月**
- 子供・若者育成支援推進強調月間 **11月**
- しまね家庭の日 **第3日曜日**

令和5年度

松江市青少年育成連絡協議会 研修会

○事業内容

五月十三日(土)の総会で行われた研修会では、青少年育成行政に携わる島崎様、松江市内で青少年育成事業に携わる学生のお一人に発表をいただきました。
 島崎様には、県民会議が目指す姿や県民会議事業についてお話をいただき、県内全体で青少年育成に取り組んでいくことといった意識が高まる時間となりました。
 藤原様には、KEYS×青少年協・小学生・高校生のそれぞれの活動についてお話をいただき、つながることの大切さを学ぶ時間となりました。
 高橋様には、生き方トークやお手伝いし隊についてお話をいただき、地域の方の温もりを感じる学びの場の深化について考える時間となりました。

○登壇者

登壇者① 青少年育成島根県民会議

事務局次長 島崎 健志様

テーマ「青少年育成島根県民会議について」

登壇者② NPO法人KEYS

藤原 睦口様

テーマ「広がる地域とのつながり」

～KEYSの活動から～

- ・まごえ湖南学園地域リーダー育成研修会の開催
- ・湖南中学生徒会とのこなんフェスタの開催
- ・自主学習へへー入開設 等

登壇者③

一般社団法人学びDesign 高橋 椿太郎様

テーマ「青少年協で学んだこと」

～一般社団法人学びDesignの活動紹介～

- ・穴チャレ・好気心lab.
- ・みんなの居場所・Cafe 等



令和4年度

子どもの健全育成研修会

in 出雲市伊野

○視察研修の概要

【日程】 令和五年一月十四日(土)

【視察先】 出雲市伊野

【参加者】 ●よつ得!?伊野いち ●伊野「コミュニティセンター」
三十名各地区青少協関係者他

○当日の研修のよつす

①よつ得!?伊野いち見学

「よつ得!?伊野いち」とは、地元の新鮮野菜や産物の地域内外へのPRと地域「コミュニティ」の活性化を目的とした産直市です。当日の見学では、店内を見学させていただき買い物しながら、運営に携わる皆様や伊野自治協会様に活動についてご説明いただきました。

②伊野自治協会の皆様による講演会

(伊野「コミュニティセンター」)

伊野では、十年後のビジョンの実現に向けて結成された「伊野やつて未来こいーネット」が中心となり、子供も「今を一緒に生きる」地域の「員」として活動に参加しています。そのことで、地域体となって取り組みが行われています。講演会では、伊野自治協会の皆様に伊野のまちづくりについて講演いただきました。

積極的に意見交換の場を持ち、年齢を問わずやってみたいと思ったことが実現できるよう地域の中で協力されています。子どももまちづくりの「員」になり、幅広い世代が楽しんで活動に参加できることがよく分かる研修会でした。



わかものふれあい事業

紹介

生馬行燈の取り組みについて

～明るく楽しい生馬村～に向けて

生馬青少年を育てる会 会長 浅野 浩之

「コロナ禍における活動自粛から、事業を再開するにあたって、「育てる会」の活動は、誰のために、何の目的で事業をしているのか」について、役員でグループワークなどを行い、改めて基本方針を「明るく 楽しい 生馬村」と決めました。

併せて、小学六年生と活動方針について話し合ったところ、「地域の人に喜んでもらえる・少しでも元気をだしてもらえるような活動がしたい!」という意見が出てきました。
 そこで、小学生と一緒に令和三年に第1回生馬行燈を開催し、令和四年には、松江高専、清心養護学校、松江中にも協力の輪を広げ、第二回の生馬行燈を開催しました。
 今後とも学校や地域の方にも協力をいただき地域の方に楽しんでもらえる生馬行燈を実施していきたいと思っております。



地域のこと、共に考えるきっかけに

八雲青少年育成の会 会長 須山 美玲

令和四年度も、地域の皆様のご協力により、子ども・若者を育成する活動や応援する活動を実施することができました。

「青少年育成八雲地域のつどい」では、地域の課題を解決しようとする様々な事業に取り組んでおられる板垣翔大さん、八雲に移住し八雲で養蜂業を営んでおられる皆川豪さんにお話をいただきました。中学生の皆さんには小グループで、お一人のお話をヒントに、自分たちが地域のためにできることを考えてもらいました。

あきらめず頑張っている大人の背中を見せ、未来へのバトンを渡していきたいもの。
 そのため、子どもたちがのびのび育ち、若者たちが活躍する活気のある地域となることを願っています。



湖北中学校区グループ活動報告

秋鹿地区青少年育成協議会 会長 福田 光宏

新型コロナウイルス感染症も五類相当となり、「コロナ前に戻りつつあります。湖北地区においては令和三年度より青少協の活動を再開してきました。令和四年十二月四日には、「学校・家庭・地域の連携を図ること」を目的とした「子どもの健全育成研修会」を三年ぶりに開催し、月二十日には、「中学生の生きる力を育み、伸ばすこと」を目的とした中学生を対象とした「ジュニアリーダー研修会」を開催することができました。

そして、令和五年度に入り各地域でリーダー研修会を受けてのイベントを開催しています。
 こうした活動を通して、子どもたちと大人の相互理解を深めるとともに、未来のリーダーとしての資質向上に地域として取り組んで参ります。



松江一中校区子どもの健全育成研修会

城北地区よりよい青少年を育てる会 会長 中西 誠

「中学生の声が聞きたい」記憶に残る地域活動」
 ○研修会の目的
 中学生が参加して、記憶に残るような楽しい活動を考えようということ
 で、中学生の声を聞き、地域でできることを考える研修会を行いました。

○研修会の内容

- ① 高校生の進行で、中学生のやってみようについて、高校生と中学生のトークを聞きながら、その思いを実現するためのアドバイス等グループトーク(大人は基本、話を聞く側!)
- ② 高校生がサポートし、中学生がグループトークの結果を発表

○研修会の成果

多くの若者(二十八人の中高生)から、「自由な居場所があったらいいな」「一緒にご飯を作って交流したいな」などたくさん嬉しい声が聞けました。
 これから、一つでも多く子どもたちと一緒に実現していきたいです。ちなみに令和五年度の城北地区の夏祭りでは、中学生だけでカレーを作って販売しました。



子どもの健全育成実践発表

～実践発表の中から活動の一部を紹介します～

とき:令和5年3月25日(土) ところ:松江市鹿島公民館

令和4年度

